

合同教育研究会議（11月13日開催）議事概要

1 開催日時

令和元年11月13日（水）13:00～14:38

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、村田研究・地域連携本部長、伊東国際教育研究部長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、鎌田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、藤村企画室長、長崎宮古事務局長、金戸主幹、和山主事

4 会議の概要

議事録確認

前回国議10月9日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) 令和元年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナー開催要項（資料No.1）
石堂高等教育推進センター長から資料に基づき、11月27日（水）に開催する令和元年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナーについて報告があり、教職員の出席について要請があった。
- (2) 基盤教育カリキュラム区分に関する改定について（資料No.2）
高橋高等教育推進センター高等教育企画部長（教育支援本部長）から資料に基づき、基盤教育カリキュラム区分に関する改定について報告があった。
鈴木学長から、学修成果の可視化を念頭に置いて進め、本件について新入生・高校生向けの資料を作成するとともに、卒業時には特に英語4技能を身に付けられるように検討してほしいとの発言があった。

- (3) 文部科学省「全国学生調査（試行実施）」への参加について（資料No.3）
関屋室長から資料に基づき、文部科学省が実施する「全国学生調査（試行実施）」に協力することについて報告があり、対象学生に対する周知について依頼があった。
- (4) 令和元年度岩手県立大学就職内定状況（10月末現在）について（資料No.4）
似鳥本部長から資料に基づき、10月末時点の就職内定状況について報告があった。
- (5) 「岩手県立大学 企業と学生のインターンシップ事後学習・交流会」の開催結果について（資料No.5）
似鳥本部長から資料に基づき、10月16日（水）に開催した「岩手県立大学 企業と学生のインターンシップ事後学習・交流会」の結果について報告があった。
- (6) 令和2年度に係る計画の作成について（資料No.6）
狩野本部長から資料に基づき、令和2年度に係る計画の作成を依頼することについて報告があった。
- (7) 次期事務管理システム更新に要する機能の照会について（資料No.7）
狩野本部長から資料に基づき、次期事務管理システム更新に当たり、機能への意見を照会する旨の報告があった。
委員から、照会は学部・本部を対象としているようだが、実際に利用している方々の声も拾ってほしいとの意見があり、これに対し、今後設置するワーキンググループの構成員は各室から選出いただくこととしているため、その方々の声を集約したいとの回答があった。
また委員から、システムへの意見は個人の感覚によるところが大きく、意見は学部で取りまとめるよりも各教員から収集してはどうかとの意見があり、検討することとされた。
- (8) 令和元年度ハラスメント防止対策研修会の開催について（資料No.8）
葛尾事務局次長から資料に基づき、令和元年度ハラスメント防止対策研修会を同一の内容にて2回開催することについて報告があり、教職員の出席について要請があった。
- (9) 令和2年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針（案）について（資料No.9）
葛尾事務局次長から資料に基づき、令和2年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針の案について報告があった。
鈴木学長から、各省庁に外部資金を獲りにいく姿勢も必要であるとの発言があった。
また委員から、同一労働・同一賃金への対応に係り、被雇用者が不利益を被らないように配慮いただきたいとの意見があり、これに対し、前提をどこに置くかによるが意見は尊重したいとの回答があった。
- (10) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について（資料No.10）
葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消する手段としての取組の10月までの対応状況について報告があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和2年度編入学試験、AO入試及び令和元・2年度大学院入試入学手続結果について（資料No.11）
- (2) 令和2年度推薦入試・各特別入試・震災特別推薦入試の出願状況について（資料No.12）
- (3) 令和2年度大学院入学者選抜（第2次募集）に係る募集人員の決定について（資料No.13）
- (4) 令和元年度後期「教員間相互授業聴講」の実施について（資料No.14）
- (5) 「2019 いわて高校生小論文コンクール」受賞作品の決定について（資料No.15）
- (6) 後期「English Time」開催結果について（資料No.16）

高橋本部長から資料に基づき、「English Time」は今後、本格的に実施する予定であることから学生に案内していただきたいこと、またこれは補充教育の一環であり、長期的な展望として、授業以外に学べる機会を設けていくことがあることについて補足があった。

また鈴木学長から、宮古短期大学部でも実施してほしいとの発言があった。
- (7) 令和元年度学び合い文化創造事業（LA企画）「日本でもできる語学の勉強」の開催結果について（資料No.17）
- (8) 第2回就職支援連絡調整会議の開催結果について（資料No.18）
- (9) 令和元年度夏季の節電実績について（資料No.19）

その他

委員から、学生の懲戒処分があったときは、学生を預かる立場にある者として、予防的措置や注意喚起のためにも情報共有いただきたいとの意見があり、情報共有による二次被害に留意しつつ学生支援本部において検討することとされた。